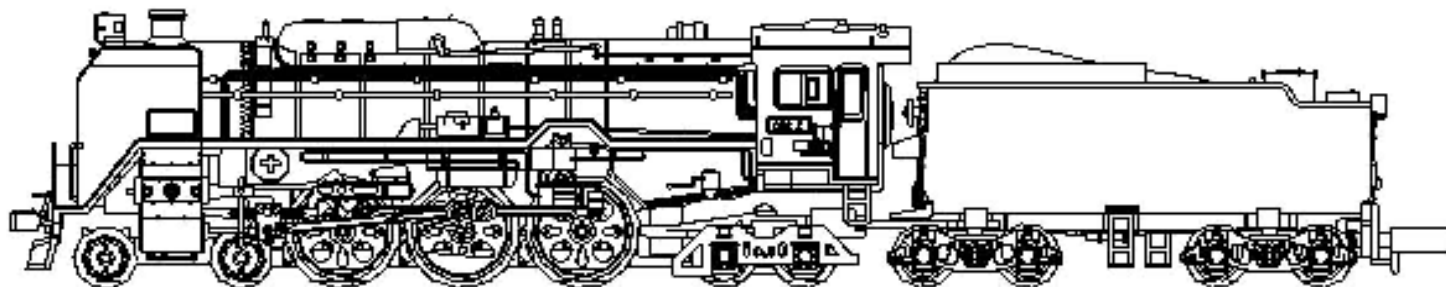


製品の仕様・価格・発売時期は予告なく変更する事がありますので、予めご了承願います。

A9807	C62-15	急行「ニセコ」最終牽引機	予価:9,800円(税別) JANコード:120163 カートン内入数:24
A9810	C62-2	函館本線・小樽築港機関区・改良品	予価:9,800円(税別) JANコード:123645 カートン内入数:24
A9811	C62-3	函館本線・小樽築港機関区・改良品	予価:9,800円(税別) JANコード:123676 カートン内入数:24
A1574	スハ45系	急行「ニセコ」1号 C62お別れ三重連列車・9両セット	予価:19,500円(税別) JANコード:115473 カートン内入数:12



商品形態	Nゲージ塗装済完成品（素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 A9807,A9808,A9811:単品プラケース入 A1574:ブックケース入）																	
実車	1968(昭和43)年、函館～札幌を函館本線経由(山線経由)で結んでいた急行「ていね」が急行「ニセコ」と改称されました。この列車はスハ43系に車軸発電機を装備するなどして北海道型に改装したスハ45系を中心とした旧型客車で編成され、C62形蒸気機関車が牽引する最後の優等列車でした。中でも、小樽～長万部間は急勾配区間のため、C62が重連で牽引する事で多くのファンに人気がありました。昭和46年9月15日、C62が牽引する最終日の「ニセコ」は三重連にて牽引されました。本務機は15号機が札幌～函館の全区間を牽引し、小樽～長万部間には2号機と3号機が補機として連結されました。デフレクタにツバメマークが入り「スワローエンゼル」として人気の高かった2号機が先頭に立ち、2両目には3号機、3両目には15号機が連結され、その後に9両編成の客車が続きましました。C62が三重連を行ったのはこの年の「ニセコ」が唯一で、多くのファンに見守られながら有終の美を飾りました。																	
商品概要	・マイクロエース蒸気機関車シリーズ及び客車シリーズの更なる充実。 ・多数のご要望にお応えし、C62牽引時代の急行「ニセコ」を製品化。 ・C62型3種と客車セットを組み合わせる事で、急行「ニセコ」を再現可能。 ・C62は2001年11月発売の製品を基に、ヘッドライトや回転式火の粉止め付き煙突などをよりリアルに改良。 ・空気作用管は金色表現。「架線注意」やテンダー形式表記など各種レタリングを印刷済。 ・スノープロウ、シールドビーム副灯付前面。キャブにはタブレットキャッチャー、バタフライスクリーンを表現。 ・ヘッドライト点灯。「ニセコ」ヘッドマークを取り付け済み。 ・三重連列車運転時、実車はスノープロウが外されていましたが、模型は付いた状態になります。																	
A9807	・急行「ニセコ」最終日の本務機を担当した15号機を製品化。 ・JR北海道商品化申請中。																	
A9808	・急行「ニセコ」最終日の補機を担当した2号機を製品化。 ・デフに燕マークを印刷。ランボード側面を白く塗装。 ・JR西日本承認済。																	
A9811	・急行「ニセコ」最終日の補機を担当した3号機を製品化。 ・JR北海道商品化申請中。																	
A1574	・急行「ニセコ」最終日の客車列車を製品化。 ・スユ13、オユ10非冷房車をプラ製完成品初製品化。室内及び区分棚も再現。 ・スハ45、スハフ45は従来品の43系客車を基に、車軸発電器部品を新規製作。 ・郵便車表記、荷物車表記、換算表記、検査表記、グリーン車マーク、号車札など、各種印刷済み。 ・編成 <table><tr><td>オユ10 2035</td><td>スユ13 2013</td><td>スハフ44 16</td><td>スロ62 501</td><td>スハ45 47</td><td>スハ45 52</td><td>スハ45 53</td><td>スハ45 33</td><td>スハフ44 25</td></tr></table> ←ライト ライト→ ←ライト ライト→ ←ライト									オユ10 2035	スユ13 2013	スハフ44 16	スロ62 501	スハ45 47	スハ45 52	スハ45 53	スハ45 33	スハフ44 25
オユ10 2035	スユ13 2013	スハフ44 16	スロ62 501	スハ45 47	スハ45 52	スハ45 53	スハ45 33	スハフ44 25										